

新就任挨拶



常務理事 兼 副理事長
兼 初台リハビリテーション病院 院長 菅原 英和

リハビリテーション医療に従事する者と患者さま・ご家族さまとの関係は、単に「支援をする側と受ける側」の関係ではなく、「共に目標の達成を目指す」協力的関係、新しい人生を築いていくためのパートナーとなることが理想であります。私達が信頼されるパートナーとなるには、最高のリハ医療を惜しみなく提供し、最高の結果を求めて誠心誠意努力することが大前提としてあります。

私自身これまで、上記の達成に向けて主に初台という限られた範囲のなかで深く尽力してきましたが、これからは輝生会全体のレベルアップのためより広い視野を持って頑張っていかなばと考えています。これからもどうぞよろしくお願い致します。



常務理事 兼 在宅総合ケアセンター成城 センター長
兼 院長 平泉 裕

この2年間は成城リハケア病院院長として病院の管理運営に携わってきた中で、訪問診療、訪問リハ、訪問看護、居宅介護といった多種類の事業についても学ぶ機会をいただきました。

本センターは回復期から生活期まですべてのリハビリテーションサービスを提供しており、他に類を見ない充実した総合的リハビリテーションサービスを展開していると自負しております。

今後も地元医師会と連携しながら、世田谷区の基幹的リハビリテーションセンターとしての役割をスタッフ一同団結して担ってまいりたいと思います。輝生会諸先輩方の御指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事 兼 在宅総合ケアセンター成城 副センター長
兼 サポート部 部長 松原 徹

輝生会入職後、初台→元浅草→初台→出向(京都)→本部→成城と様々な拠点に異動し、臨床・管理業務を担ってきました。私のモットーは、「ピンチはチャンス」です。

今回のサプライズ人事はさすがに一瞬「ピンチ」と思いましたが、私にとって未知な領域であるサポート部、ピンチをチャンスに変える絶好の機会と感じ、断る選択肢はありませんでした。サポート部は身体で例えると血液だと思います。決して目立ちませんが、全身に栄養を送り、脳などの臓器、筋肉や神経などを機能させるために最も重要なもの、そんな役割が果たせるよう、貧血に陥らない様に精進していきます。今後とも宜しくお願い致します。



常務理事 兼 副理事長
兼 船橋市立リハビリテーション病院 院長 梅津 博道

新型コロナの第8波が終息に向かい、感染法上の位置づけが5類に下がることが決まったことで、何となくほっとした気分が世の中に広がっています。船橋市立リハビリテーション病院では、コロナ渦の3年間で得られた辛いながらも、貴重な経験を生かすことで、with コロナの時代に適応、本来の輝生会の果たすべき役割を担って行きたいと考えています。個人的には、4月から副理事長を拝命いただきましたが、役割がまだ何となく不透明なだけに、背中に不気味な重圧を感じています。今後の輝生会を担う次世代の職員の方々に、負の遺産を残さず、ストレスフリーな状態で仕事に集中できるように、もうしばらくの間輝生会に貢献したいと思っております。



常務理事 兼 輝生会本部 事務局長
兼 サポート本部 部長 高橋 誠

輝生会の5つの拠点ではそれぞれの特徴を活かし、病気やけがにより障害を持たれた方々が、地域で再び安心・安全に生き生きと暮らして行けるように支援しております。現在、その目的を達成させるために1,300名を超す職員が勤務しております。この度、輝生会本部事務局長に就任することとなり、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

日本では2040年にもなると、高齢者人口の伸びは落ち着いた、現役世代が急減し、より少ない人手でも回る医療・介護の現場を実現することが必要と言われております。非常に困難な時代ですが、法人一丸となり、職員が安心して働ける環境作りに取り組んで参りたいと考えております。皆様方のあたたかいご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

「石川誠記念館」がWeb上に開設されました。

一般社団法人回復期リハビリテーション協会様により、Web上に「石川誠記念館」が開設されました。輝生会の各病院のホームページにもバナーを掲示しておりますが、下記QRコードからアクセスできます。

故石川誠輝生会会長が、どのような思いで回復期リハビリテーション病棟を作ったかを、人となりや足跡と合わせて紹介して下さった、とても素敵な記念館になっています。是非みなさまにもご覧頂きたいと思っております。

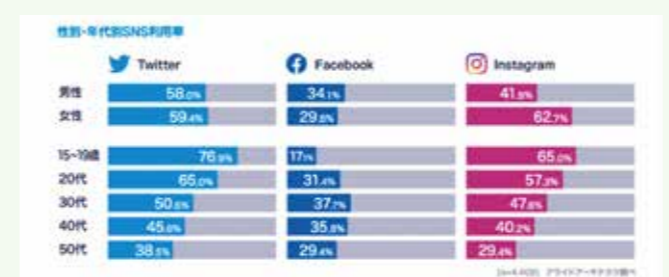


初台リハビリテーション病院では2022年の10月に公式のInstagram、Twitterを開始しました。今回、立ち上げの経緯や目的なども含め活動報告をさせていただきます。

1 発信趣旨

初台リハビリテーション病院および輝生会では、これまでブログやホームページを用いて院内の様々なイベントや院内の紹介をしていました。ブログやホームページ以上に簡便に発信できるツールで、当院のアピールをできないかと、2021年度に法人の新規プロジェクトへ応募をしたのがきっかけでInstagram、Twitterを開発しました。

Facebookなども候補でしたが、SNS利用者の中で10代、20代の割合が高いInstagram、Twitterをまずは開始しました。



参照元: アライドアーキテックス株式会社「Twitterユーザーによる企業公式アカウント利用実態調査」(2020年12月16日~12月27日)

2 更新頻度

基本は週1回を目標に更新を心掛けていますが、院内で行う季節ごとのイベント(クリスマスや、ひな祭り)や、各職種の勉強会があるたびに関係当事者が写真撮影を行うとともに、Instagramへの投稿を行っております。

3 発信担当チーム

広報プロジェクトチーム
プロジェクトリーダー:野口隆太郎、院長、部長、部門長、フロアマネージャーです。
投稿頻度の上位は菅原院長、畑中部長、野口です。

4 記事のポイント

輝生会らしさが伝わる記事・写真を心掛けています。チームアプローチの実践する姿、最新のリハ機器、各種学会への参加・発表報告などそれぞれの投稿者が輝生会の大切に行っている想いを発信しています。

5 手ごたえ

開始後、5カ月を過ぎました、フォロワーも250名を超えてきました。写真やコメントを通して輝生会らしさが徐々に伝わってきていると思います。

6 さいごに

広報活動を行うことで、病院・法人の取り組みの良い部分を改めて自身も確認できたと思います。今後も魅力ある病院作りや地域とのつながりをより深めるために、広報活動を通して我々の取り組みをアピールしていきます。

文責: 初台リハビリテーション病院
クオリティマネージャー 兼 理学療法士部門長 野口隆太郎

これまでの投稿写真の中から いいね が多かった写真を紹介します。



Instagram 公式ページ



Instagram 公式



Twitter 公式

